

授業 コード	11204	科目名	心理データ解析法		担当者		村上 幸史			
		副題		開講期	後期	単位数	2	DP対応	S1,S2	
【授業概要】										
測定データに関する統計的分析に関して、基礎から応用、多変量解析への橋渡しをする。										
【到達目標】										
自力で実験や調査データの分析ができる。										
【授業方法・計画】										
統計学の基礎知識を復習しながら、少し応用的な分析の実習を行います。										
第1回	データセットの利用									
第2回	検定と分散分析1									
第3回	検定と分散分析2									
第4回	検定と分散分析3									
第5回	分析演習1									
第6回	相関係数と因子分析									
第7回	因子分析と主成分分析									
第8回	分析演習2									
第9回	尺度構成									
第10回	回帰分析1									
第11回	回帰分析2									
第12回	分析演習3									
第13回	判別分析									
第14回	分析演習4									
【準備学習・復習】										
講義内で取り扱うデータについて再分析を行ってみること(200分)。										
【課題に対するフィードバックの方法】										
課題については講義内で解説する。										
【受講上のアドバイスおよび注意事項】										
この科目は統計に関する応用的な科目である。統計学の基本知識があることを前提に進めるので、必ず受講前に「統計学」または「教育評価」を履修しておくこと。また認定心理士(心理調査)の資格科目ではあるが、社会調査実習など、調査データ解析の応用に関心のある学生を歓迎する。講義内ではエクセルや統計ソフトを使用するため、コンピューター上でのデータ処理操作に慣れておくこと。										
成績評価方法	講義内の課題(30%)とレポート(70%)									
教科書	「よくわかる心理統計」(山田剛史・村井潤一郎著、ミネルヴァ書房)									
参考書	「誰も教えてくれなかった因子分析」(松尾太加志・中村知靖著、北大路書房)									
SP2212	授業に関連する実務経験				なし					